

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域公民館等施設改修事業			630127	担当課	中央公民館		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	254	頁		
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-			
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	社会教育法 公民館条例			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	経年劣化が進み、不具合が生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を改修、更新することで、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心、かつ快適な公共施設を提供していく。							
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.07			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)西日本エスエスシー アムス・セキュリティサービス(株) 他							
	事業概要	地域公民館及び体育館等施設・設備について、緊急性や時節的な観点等も考慮する中で、優先度を決め施行した。六人部地域公民館の大型ガラス修繕も施工完了できた。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		六人部地域公民館 駐車場外灯修繕 など			1,667		
		役務費		日新地域公民館樹木伐採手数料			242		
工事請負費		六人部地域公民館 ガラススクリーン修繕 など			2,273				
備品購入費		日新地域公民館 アルミスロープ			98				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		5,725	4,621	1,284	0		
		補正予算等・・・②		628	△ 293	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		6,353	3,728	1,284	0		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	600	0	0		
		その他特財		0	0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)	地域活性化事業債			700	社会教育事業債	52	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.15/0	0.15/0	0.15/0	2/0		
		概算人件費・・・④		1,200	1,200	1,200			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		7,553	5,528	2,484					
執行状況	執行額・・・⑥		6,353	4,280					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	98.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		地域公民館等施設利用者数	人	125,202/125,000	122,536/126,000	/127,000	128,000		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		修繕・改修等の箇所数	箇所	12 / 12	6 / 6	/ 6	0		
		単位あたりコスト		529.4	713.3				
			/	/	/				
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・経年劣化の進んだ各地域公民館等の施設・設備・備品に修繕、改修等を施すことは、地域住民をはじめとする市民の皆さんに、安全安心かつ快適な公共施設を提供するうえで必要であり、優先度は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・老朽化により不具合が生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を原状復旧、改修、更新することで、全体的な観点からコスト削減に寄与すると同時に、公共施設マネジメントを推進することになる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・地域公民館や体育館等施設については、広域避難所にも位置づけられているため、有事の際に、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心かつ快適に利用していただく公共施設として修繕は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	老朽化により、不具合が生じている各地域公民館等施設に修繕又は改修等を施し、安全に安心して利用でき、施設の長寿命化とコスト削減につながった。	
	今後の課題及び方向性	地域公民館にあつては、築30年、40年と経過していることから老朽化も著しい。今後も広域避難所でもある公民館が安心安全に利用いただくために、必要性、優先度に応じて予算措置を講じ、計画的に実施していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・年次計画を策定し、計画的に維持・修繕を進め、長寿命化を図ること(緊急性の高いものから対応するだけでは十分とは言えない。基本は計画、どうしても(が発生しないように努めつつ)という場合のみ緊急対応で ・老朽化が進んでいるとのことだが、大規模改修etcの計画を策定していただきたい ・改修であっても年次計画はある一定作るべきで、必要に応じて、時点改修すればよい。そのなかで優先順位をつけること。 ・普建調ではH32～H33でしか計画されてないが、整合を図ること		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	市民交流プラザふくちやま管理運営事業			630167	担当課	中央公民館		
	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	佐々木 和美			
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)公民館費	決算附属資料	254	頁		
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-			
	施策名	生涯学習施設の整備と適切な維持管理をする			根拠法令等	市民交流プラザふくちやま条例 市民交流プラザふくちやま条例施行規則			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民交流プラザふくちやまの施設利用者の安全と利便性を確保し、適正で効率的な維持管理運営を行う。							
	対象者	全市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.67			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> オリックス・ファシリティーズ(株)							
	事業概要	市民交流プラザふくちやまの施設にかかる各設備保守点検業務、清掃業務、警備業務、その他の施設維持管理業務をおこなった。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		電気料、上下水道料、ガス代、駐車券、施設修繕料他			18,240		
役務費		通信運搬費(郵送料)手数料(ピアノ調律代)など			671				
委託料		警備業務、清掃業務、電気設備他保守点検業務、除雪業務			32,666				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		53,510	53,039	50,775	0		
		補正予算等・・・②		△ 1,842	△ 1,437	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		40,051	37,716	35,638	0		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		11,617	13,886	15,137	0		
		特定財源名称 (H29実績)	市民交流プラザふくちやま駐車場使用料			6,323	総務管理使用料	8	頁
	市民交流プラザふくちやま使用料			7,784	総務管理使用料	8	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.20/0	0.20/0	0.20/0				
	概算人件費・・・④		1,600	1,600	1,600	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			53,268	53,202	52,375	0			
執行状況	執行額・・・⑥		51,668	51,577					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		市民交流プラザふくちやま利用者数	人	419,287/262,000	440,731/300,000	/420,000	425,000		
		利用件数	件	6,489/6,500	6,438/6,500	/6,600			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		開館日数	日	360/360	359/359	/359	359		
		単位あたりコスト		143.5	143.7				
	単位あたりコスト				/				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・コミュニティづくり、憩いの場として目的に応じた機能を果たし、安全安心で快適な公共施設として提供できている。プラザの貸館業務では民間事業者による実施も可能であるが、公民館もあることから、手法については検討する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・太陽光発電を利用する等、効率的な運営に努めている。社会教育団体、公民館登録団体等には、社会教育施設という観点から使用料の減免をおこなっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	成果目標については基本計画より設定している。開館から5年を迎え、認知度も高まり利用者が増し、高齢者から子どもまで市民の生涯学習実践の場として有効的に機能している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市民交流プラザふくちやまは、コミュニティづくりの場であり、様々な交流の場として目標を超える多くの利用があった。引き続き利便性を確保し、安全安心かつ快適な公共施設として提供できるように維持管理及び運営していく。災害時には避難所としても機能している。	
	今後の課題及び方向性	今後も「まちと人・人と人をつなぐ交流空間の創造」をコンセプトに、市民交流プラザふくちやまの円滑な維持管理及び運営を継続することにより、生涯学習機能の充実とそこに集う人々の交流とにぎわいづくりを促進していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・光熱水費や施設消耗品等について、1・2Fの図書館分の費用を明確化し、その部分のコスト意識(費用削減)を持ってもらうように ・利用者数の目標については、入居団体間で共有し、それぞれの目標との整合性をもたせること ・貸スペースの受付業務を人と紙台帳で行っているが、近代的な公共施設として、Netでの申込を一部でもよいので、システムで処理する手法を検討願いたい ・予算の計上について整理を		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		